

(資料 2)

「GIS 公募型実証実験 平成 14 年度実験成果集」の概要

1 . 主な掲載内容

(1) GIS に関する国土交通省国土計画局の取り組み

(2) モデル地区の紹介

(3) 各地区毎の実験の紹介

～ 実験紹介ページの事例は次ページを参照してください ～

(4) 実験参加者一覧

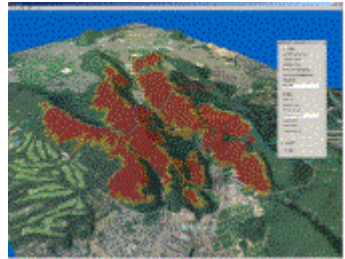
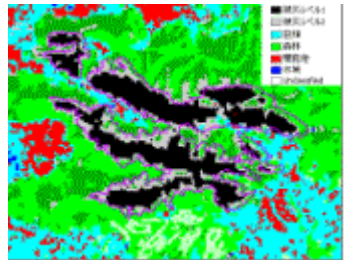
(5) 実験用データ提供者一覧

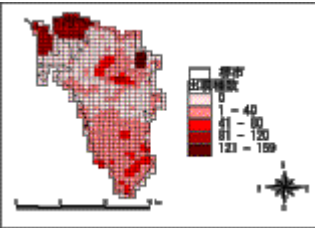
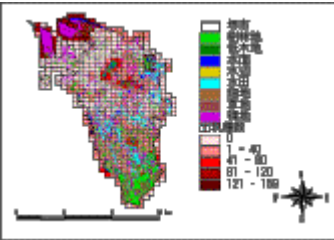
(6) 実用化・商品化事例一覧

(7) キーワード索引

2 . 紹介事例数

合計 152 件

①実験名称	山林火災が及ぼす森林機能への影響評価の研究		
②参加者名称	大日コンサルタント 株式会社		
③実験の目的	④利活用データ	⑤実験のキーワード	
人工衛星データと実証実験データの利活用による、岐阜山林火災の被害状況の把握。 森林機能回復状況のモニタリングに必要な基礎データの作成。	森林簿、森林計画図、森林基本図、オルソ画像、岐阜県現存植生図、土砂災害危険箇所図、土地分類基本調査など	環境、 防災、 3D	
⑥実験の内容	⑧イメージの図画例示		
人工衛星データによるリモートセンシング解析結果と、実証実験データベースに蓄積された各種データを活用し、岐阜山林火災の被害状況の分析を行った。また、分析結果からVRによる被害状況の3次元可視化を行った。			
⑦実験の成果			
人工衛星画像解析が、山林火災における復興支援・回復状況モニタリングのための情報提供や、山林火災の事前監視や森林整備の必要性の判断に有効であることが確認できた。			

①実験名称	堺市におけるバイオリージョンGISデータの利活用実験		
②参加者名称	京都府立大学大学院農学研究科教授 田中 和博		
③実験の目的	④利活用データ	⑤実験のキーワード	
堺市の自然環境データの利活用。 堺市における自然環境の現状把握など。	自然環境情報システム、 緑の現況データベース	環境、住民サービス、 文化・教育、 解析・シミュレーション	
⑥実験の内容	⑧イメージの図画例示		
堺市が独自に作成した、生物の分布に関するデータをまとめた「自然環境情報システム」を、GISを用いて地図情報に変換し、メッシュごとに出現種数を示すGISデータを作成した。次に堺市の緑地分布を示す「緑の現況データベース」と重ね合わせ、堺市の自然環境の現状を視覚的、直感的に把握することができるようにした。			
⑦実験の成果			
堺市から提供されたMS-Access形式のデータベースである「自然環境情報システム」を利用し、その情報をGISを用いてタイルポリゴン化することで鳥類の分布状況が視覚的に把握できるようになった。さらに「緑の現況データベース」と重ね合わせて表示する事で、例えば鳥類の生物多様性が高い地域にどのような緑地が分布しているかについても視覚的に把握できるようになった。			